

以下の文章を読み、「病気と環境」について、600字以内であなたの考えを述べよ。

しばらく前から「進化医学 evolutionary medicine」と呼ばれる新たな研究領域が浮上しており、それは病気というものを、人間あるいは個人をとりまく「環境」との関わりにおいてとらえるものである。

大きく振り返ると、人間の遺伝子つまり生物学的な特性は、私たちの祖先である現生人類（ホモ・サピエンス）が地球上に登場したおよそ20万年前頃からほとんど変わっていない。言い換えれば、私たちの身体は当時の環境、つまり比較的ゆっくりとした時間の流れの中で、狩猟採集生活を営んでいた生活環境に適した形に作られている。たとえば当時は食糧が慢性的に欠乏しがちだったので、食物の摂取量が多少不足しても血糖値を高く保つような仕組みが人間の身体には備わっている。

ところが現在のような「飽食」の時代には、そうした人間の身体的特性はかえってマイナスに働き、逆に糖尿病や肥満など様々な病気の原因になっている。同様のことは様々なアレルギーや各種の慢性疾患にもあてはまるし、ストレスやそれに由来する疾患などはその最たるものといえるだろう。

（広井良典『持続可能な医療』による）